

令和6年度第1回館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会
確認事項に対する回答

令和6年8月21日開催の懇談会で持ち帰り回答することとなっておりました確認事項につきまして、次のとおり回答いたします。

確認事項	回答
＜支援対象児童見守り事業＞ 南房総市と館山市が連携して事業を行うメリットは。	利用者が館山市と南房総市の間で転居される場合でも、引き続き事業が継続実施されます。 事業実施に際し、必要な経費（備品等）について、2市双方の利用者数に応じて按分で負担するため、単独で実施するよりも費用を抑えることができます。
＜公共交通活性化推進事業＞ 『チョイソコとよふさ』の利用実績は。	令和5年12月～令和6年3月 50日運行 延べ71人利用 1.42人/日 令和6年4月～令和6年8月 65日運行 延べ66人利用 1.02人/日
＜KPI：LoGo フォーム活用数＞ Web フォームを活用すべき事柄に対する活用した実績か。	定住自立圏の取組みの中でシステムを導入したことにより、2市協働でフォームを作成することが可能となりました。 お示しの「LoGo フォーム活用数」については、こうした背景から新たにフォームでの回答受付・集計を行い効率化を図ることとした事務の延べ件数であり、紙ベースによる既存事務の置換えを意味するものではありません。
＜KPI：事業を通じた移住者数＞ 「事業を通じた移住者数」の数値は定住自立圏事業による移住者のみの数値か。	そのとおりです。両市の移住相談窓口を経由して移住された方の人数になります。